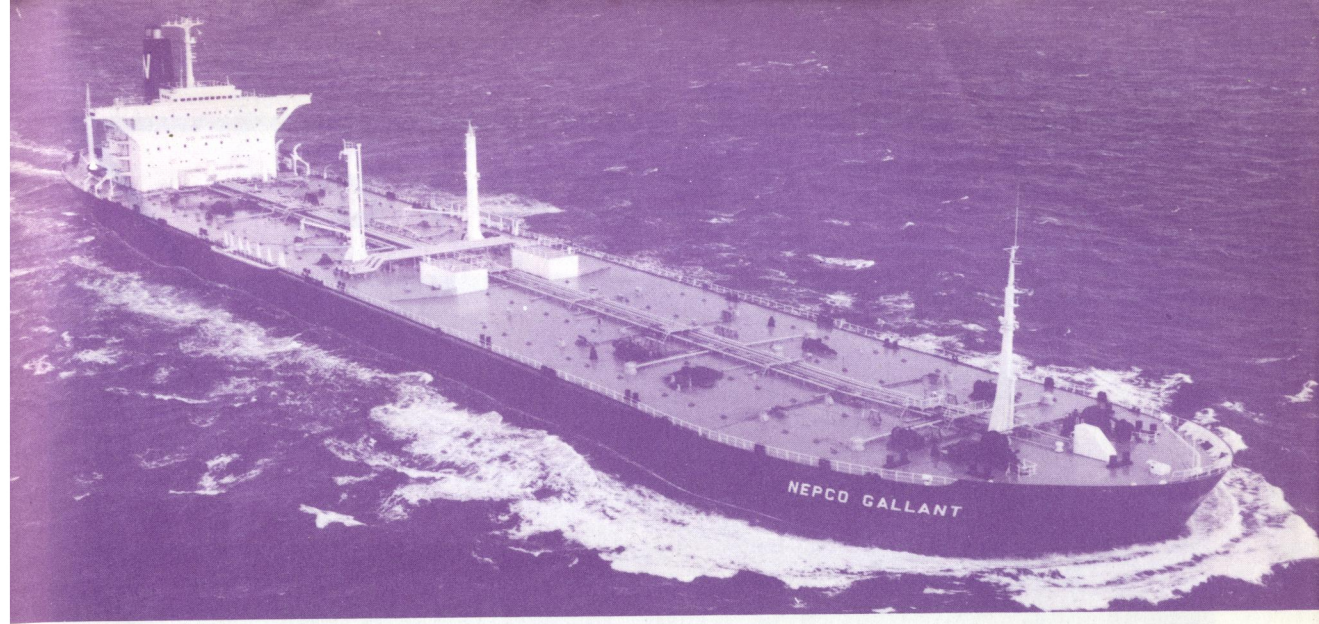




リベリア向け撒積貨物船“ドリフォロス”Doryforos。三井造船玉野造船所で本年1月14日竣工。32,785重量トン。



リベリア向けタンカー“ネブコ・ギャラント”Nepco Gallant。日立造船因島工場で本年1月25日竣工。116,298重量トン。

## 世界の艦船 8月号 (通巻第180号) 目次

【表紙】カーフェリー“まりも”の船上風景……………写真撮影：編集部

青い海に一筋の航跡を残して進む近海郵船のカーフェリー“まりも”の、のどかな航海風景で 広い露天甲板では船客が輪投げやシャッフル・ボードを楽しんでいる。去る4月から東京-釧路間に就航した本船は、9,200総トン、航海速度20.7ノットで、フィン・スタビライザーを2組装備している。

### 写真頁

▶【カラー写真集】 かしおべあ、ハンブルク……………	1
▶護衛艦“いわせ”進水……………	7
▶輸送艦“あつみ”進水……………	8
▶特務船104号進水……………	10
▶海上自衛隊の本年度遠航部隊出発！……………	11
▶自衛艦コーナー (いかづち、いなづま)……………	12
▶英フリゲイト『ヤーマス』来航……………	13
▶台湾の練習艦隊が来日……………	14
▶思い出の日本軍艦 (戦艦霧島)……………	16
▶《回想の客船アルバム》 その19—グリップスホルム (スウェーデン)……………	21
▶【写真シリーズ：世界の客船】 西ドイツ客船『ハンブルク』……………	22
▶終戦後の帝国海軍艦艇……………	24
▶わが国長距離カーフェリーの全容……………	32
▶キューナード・ライン客船の系譜 (下)……………	37
▶【フォト・アルバム】 過ぎし日の海上王“戦艦”⑩……………	94
▶ようこそ『ハンブルク』—初めて来日した西ドイツの海の女王……………	96

写真提供：朝長 溶／解説：木村信一郎

解説：野間 恒

山形民芸鋳物

錨のせん抜き

(マリトルックのオープナー)

品番 W-501

送共 200円

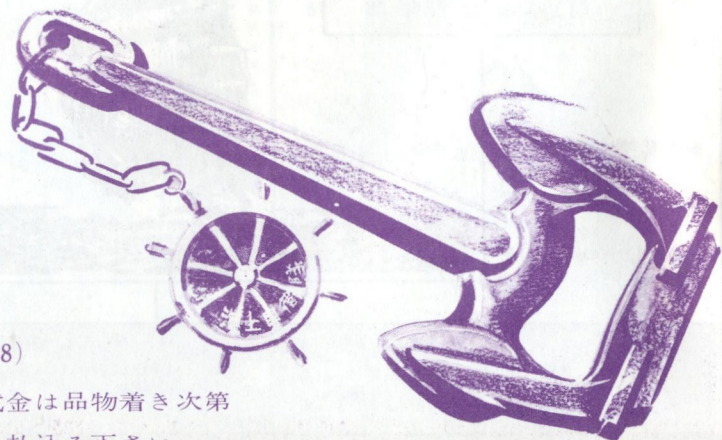
東京都港区浜松町1-2-18

日信企画

電話 431-4015 郵便振替(東京 98438)

お葉書にてお申し込み下さい。代金は品物着き次第

同封の郵便振替用紙で郵便局へお払込み下さい。



▶スカンダッチのフルコンテナ船第1号『ニホン』来航……………	100
▶進徳丸 (昔と今)……………	102
▶ニュース・フラッシュ……………	104
▶新造船紹介……………	108
▶米軍が撮影した戦艦『大和』の最期……………	112

### 本文記事

★長距離カーフェリー—各航路の特徴と問題点……………	山田 迪生	39
■長距離カーフェリー・ガイド……………		46
★やぶにらみ長距離カーフェリー考現学……………	野間 恒	56
★フェリー時代にいたい放題……………	柳原 良平	62
★《座談会》長距離カーフェリーの展望 (上)……………	大須賀／谷口／樋口／宝来／柳原	66
★《証言記録》戦艦大和最期の状況……………	原 勝洋	74
★練習船“進徳丸”—戦火を潜ったその多彩な生涯を思う……………	正岡 勝直	80
★第2次大戦後の米海軍潜水艦 (その23)……………	酒井三千生	82
■海上自衛隊の昭和47年度研究・開発の概要 (上)……………		119
★日本沿岸に伏在する機雷の脅威—海麟丸事件にからんで……………	瀬名 堯彦	126
■海上自衛隊ニュース……………		130
■海外艦艇ニュース……………		134
■内外商船ニュース……………		136
★沖縄復帰にともなう海上保安庁の動き……………	編集部	138
★艦色の襟章—海軍造船官としての10カ年—(30)……………	堀 元美	140
★【艦船あらかると】海上自衛隊の艦載艇オンパレード……………	木俣 滋郎	146
■ブック・ガイド……………		149
■読者交歓室……………		150
■編集後記……………		150



北ビルマ攻防戦で悲惨と残酷をきわめた秘境ミトキナをめぐる血みどろな玉砕戦！

## 死の筏ミトキナの激戦

750円

藤野英夫の意欲作！

竹本定男 ●540円

海軍下士官兵 重巡那智

自己の責任を全うし、生と死の極限にあって、最後まで頑張  
り通した下士官兵の生活と勇敢な活躍を描いた感動の力作！

完結！

本書は、第18師団・歩兵114連隊(原隊は小倉)の移駐したミトキナが、一年八ヵ月後には、“第二のインパール”となって、この部隊と他部隊の支隊が敗れ去るまでを、当時一兵卒の著者が、生と死の極限にあって体験した生々しいドキュメント

海の戦記 全5巻各500円 不沈戦艦長門 今官一  
特攻戦艦大和 吉田俊雄 激闘重巡摩耶 池田清  
海空戦 空母瑞鶴 森史朗 魚雷戦 第二水雷戦隊 半藤一利